

2026 構音指導講座『子どもを育む構音指導の実際』【要項】

— 側音化構音の早期改善・早期指導終了を目指す構音指導 その8 —

〔テーマ〕

側音化構音で“誤りの自覚がない 従って 直す意欲もない”

低年齢児(年少～小学2年頃)への楽しい構音(点)指導

≪ 主な内容：指導の様子は実際の指導動画 ≫

① 個性に応じた『楽しい構音(点)指導への導入場面』の視聴と解説

≪ まねすることが楽しい！まねをすることに自信がある！だから、もっとまねをしたい！！ ≫

② 『「ち」及び「け・き」の構音指導』の視聴と解説

③ 『会話への般化の指導』の視聴と解説

側音化構音であっても“正しい構音”の獲得を目指しましょう！

🌸 “正しい構音の獲得を目指さなければならない理由”を側音化構音のあった3名の事例から考えてみましょう

≪ 山梨県の50歳代の社長さんからの訴え ≫

「側音化構音は、今からでも直るのでしょうか？」から、その話は始まりました。

小学時代に首都圏のことばの教室に数年間通ったそうです。そのことばの教室の先生からは、「ほとんどそれらしく聞こえるし、聞き誤られることはない。これ以上は治らない」と強く言われ、自分そして親としてはペロの動きに違和感を感じることを主張したそうですが、終了させられたとのことでした。

それから50年近く、『治したいとのわだかまり』は消えることはなかったそうです。

当相談室のHPで『側音化構音の改善の動画』をご覧になって、“息子に社長を譲る、つまり、自分が引退するにあたって、『普通の発音で』社員に訓示をしたい”との強い思いから、当相談室の所在を確認することなく、電話をかけてきてくださったのでした。【ちなみに、電話番号で山梨県の市外局番は [055]、山形県は [023] です】

「当相談室は、山形にあるのですが、来れますか？」と梅村。驚きと暫しの沈黙と落胆が伝わってきました。

≪ 「先生！ 集会の時は、マイクを使わないでください！」と、生徒から注意された中学教師 ≫

純子さん(仮名)は、中学校の先生です。校務分掌では、生徒指導を担当しているので、全校集会で全生徒に対して話をする機会が多いのだそうです。ある時、数人の生徒から、ショックなお願いをされました。それは、『地声では大丈夫だが、全校集会ではマイクを通すと、時々分からないことがあるので、マイクを使わないで欲しい』というものでした。

純子さんには、実は心当たりがあったのです。

ところで、純子さんの長男で小学2年生のぶ君(仮名)には、「き・け・きゃ行等」の側音化構音があり、通級指導を受けました。10回の通級で終了[AD04=[ke]の終了時の構音動態]することになり、終了にあたって『通級させての感想：R16』を書いてくださるように純子さんにお問い合わせしました。

書き出しは、こうです。

「私は人と話をするのが好きです。が、人と話をすることにコンプレックスを感じています。それは、私の発音が他の人と違うことに気づいたからです」

そして、「私は今からでも“大人のことばの教室”があるのなら通って発音を治したい。そして、どんな言葉も気にせず、思い切り話をしてみたいと思っています」との言葉で締められていました。

実は、先の社長さんは、のぶ君の“終了時の構音動態 [AD04]”をご覧になったのでした。



《 待望の赤ちゃん、考え抜いた名前“けんた(仮名)”。綺麗な発音で言う「けんた」が聞きたいと願う母 》

ある県の公立小学校のこたばの教室を担当する先生方の研究会に招かれ、『子どもを育む構音への指導の実際』というテーマで話をさせていただいた時のことです。その講演の前日、側音化構音のある3名のお子さんに、直接指導をさせていただきました。

その中に小学2年生の“けんた君”がいました。けんた君には、「き・け・きゃ行」に側音化構音が認められ、約1年半通級指導を受けていましたが、普通の構音の仕方が、音節レベルでもまだ獲得していませんでした。

けんた君には、自身の名前に“け”があることから、『構音の誤りの自覚』があり、『直す意欲』もありました。初対面にも関わらず、打ち解けやすいお子さんだったと記憶しています。

構音指導では、初対面から35分程度の指導で、取り敢えず、正しい構音で“けんた”と言えるようにして指導を終えました。母親にけんた君を引き渡すとき、「綺麗に“けんた”と言えるようになりましたよ」と梅村。そして、けんた君に、母親が“舌の動き”が見える位置で「けんた」と言ってもらいました。するとけんた君は、ニコニコしながら自信あり気に「けんた」を母親に見せ、聞かせました。

何かを言いかけた母親のこたばが、止まりました。むせる様な声と同時に、母親の目には涙が溢れてきました。

「どうしました？」と尋ねました。間を置き、心を落ち着かせると、涙の理由を母親が静かに話し始めました。

「赤ちゃんが、欲しくて欲しくてたまらなかったこと」「医療的に最後の望みで、やっとやっと授かったこと」「だからパパと一緒に、この子の名前を、とことん調べとことん考え抜いて付けたこと」、そして、「この子が自分の名前が言えるようになったとき、変な発音になっていることに気が付いた時のショック」。

最後に「変なベロの動きのない綺麗な“けんた”を初めて聞いて……」と言いかけて、また涙ぐむのでした。

以上3名の事例を紹介しましたが、“多くの構音に側音が認められ、指導教官から教師になることを諦めるように言い渡された学生さん”“それなりに理解してもらえるような発音にはなったものの、変な舌の動きを真似されて不登校気味になった我が子を、普通の言い方の発音に直して欲しいと連れていらした母親”“〔き〕や〔ち〕を発音する時、「ベロがまん丸くなったり、あごが勝手に動いて止められない」と、他の人との発音の仕方の違いに気づき、母親に「こんなベロいらない！ 私のベロ手術して取ってよ！」と訴えた年長の女の子”等々と枚挙に暇はありません。

どうですか？ こたばの教室やこたばのリハビリ室を訪れる全ての人達は“正しい構音への改善”を期待し、皆さんの職場を訪れるのではないのでしょうか。けんた君の母親や「ベロを取って」と訴えられた母親に「歪んだままで許せる発音を……」と勧めることは、母親の悲しみに追い打ちをかけることになるのです。

こたばの問題にかかわる私たちが、“この母親の悲しみに寄り添う”とすれば、構音の改善に、正面から取り組み、改善に資する知識と技能・技術を身に付けること以外にないと思うのです。

ところで、テレビ朝日「探偵ナイトスクープ」という番組をご存じですか？

この番組に『「ち」と言いたいのに「き」と言ってしまう』ので、『「ち」と言えるようになってファミリーマートで「ファミチキ」と自分でちゃんと言って買いたいの、直して欲しい』という小学5年生の女の子智美(仮名)さんからの依頼がありました。

番組から依頼を受けたある言語聴覚士さんが登場し、誤りの状態が“側音化構音”であることを説明し、早速「簡単に言えるかもしれない方法なんですけども……」と言いながら構音(点)指導を始めました。その場ですぐに「ち」が言えるようにし、夕方頃には「ファミチキ」と言えるようにしてあげたのしょう、母親や言語聴覚士さん・店員さんから笑顔で見守られながら、自信をもって明るい声で「ファミチキを下さい」と注文する智美さんの姿が映し出されていました。是非にTverなどでご覧ください。

ところで、智美さんの場合は、構音の『誤りの自覚があり』『直す意欲も高い』場合の対処と言えます。ですが、“構音の改善”は、親御さんの心配をおもんばかれば、入学迄を目標にする必要があるのではないのでしょうか。今回の講座のテーマを『“低年齢児”への構音指導』とした理由は、ここにあります。



2026 構音指導講座 ★ 講座の基本的な進め方と日程

- お断り①：参加者の更なるご要望により、当日の内容・日程が変更されることがあります。
できるだけご要望にはお応えしたいと考えています。予め、ご了解ください。
- お断り②：構音記号は、日本音声言語医学会の旧表記です。
- お断り③：正音と誤り音の表記は、[誤り方/正音]となっています。

- ① 演習形式での進行が基本です。
② 質問がある場合は、講話の途中であっても、“話をさえぎって”でも質問して下さい！

8月22日(土) ※ 登場するお子さんの名前は、全て仮名です

受付 9時30分～10時頃

＜お断り＞

基礎A・Bは、“構音障害の理解”と“構音(点)指導の基本”ですので、毎講座ごとに話をさせていただいています

基礎A 構音の誤り方の様相とその要因と疑われる発達上・認知上・医療上の問題

「声門破裂音」や「開鼻音」のような、口蓋裂等の発声発語器官の器質性障害を原因、または、要因として生じやすいと言われる構音障害は、実は、器質性の問題に因ることなく生じることがあります。

このようなことから、『医療等の観点から構音障害を理解する』だけでなく、『発音の誤りや構音障害の様相から、医療の問題や知的認知的発達等を理解する』ことも必要になります。

基礎Aでは、この理解の仕方に必要な「情報の内容」を紹介すると共に、映像資料を交え幾つかの構音障害の事例とそのピフォーアフターを紹介します。

参考【R14：こぼの教室の指導と運営 第三章指導について 2 構音障害 山形県言研 2002】



基礎B 機能的構音障害としての側音化構音に対する構音点指導の基礎

- 小学4年女児(まりさん：仮名)に対する [ʃi] [tʃi] の18分間の構音(点)指導の視聴と解説

この18分の中に、構音(点)指導の原則のほぼ全てが含まれています。

『構音指導の流れの基本』をご確認下さい

『低年齢児への構音指導』の基本

まねすることが楽しい！ まねをすることに自信がある！ だから、もっとまねをしたい！！

内容① 個性に応じた『楽しい構音(点)指導への導入場面』の視聴と解説

①A 『低年齢児への構音指導』の基本についての解説

構音(点)指導ですから、『構音の仕方』を模倣してもらわなければなりません。が、恐らく、「年齢の低い子が、微妙な口の開き方や音の出し方ができるのだろうか？」と疑問に思うのではないのでしょうか。

では、皆さんはどのようにして構音を獲得してきたのでしょうか？ この辺りに指導の基本の秘密があるのです。ですから、「直す」ではなく、『育む』と考えてみてはどうでしょう。

昼食・休憩 12時30分頃～13時30分頃

①B その1：子どもが指導者の真似をしたくなるような関わり方の方法とその留意事項

2名の事例について、1事例につき約45分をかけて、指導者と子どもとの関わりを視聴し、詳細な分析とその検討を行いましょ！

その2：子どもが指導者の真似をしたくなるような関わり方の視聴と解説

3名の事例について、構音(点)指導に入るまでのプロセスを視聴しましょう

内容② 『「ち」及び「け・き」の構音指導』の視聴と解説

②A 『構音指導』の基本についての解説と指導上の留意事項

ここでは、構音(点)指導そのものについての“留意事項”を解説します

- 「今から先生が〔ち〕と言うので、同じように〔ち〕って言ってね」の指示がダメな理由
- “変な口”と“変なベロ”と“変な音”の“まねっこ”って何？
- 花丸をたくさん付けてあげられる“漸次接近法”の方法と留意事項
- 模倣させる音の指導者の提示の仕方の留意事項 等々

②B 「ち」及び「け・き」の構音指導

その1：〔tʃ〕の導き方〔事例①②については、詳細な分析とその検討を行きましょう！〕

事例①：年長児びいさんへの〔ち〕の構音(点)指導『音の出し方』の視聴と解説

びいさんの指導：W画面の例

事例②：年少児ほのかさんへの〔ち〕の構音(点)指導

『“音の出し方”から“句や文で言える”』までの視聴と解説

※ ほのかさんの基本情報 と 構音指導のビフォーアフター



夕食・休憩	17時30分頃 ~ 18時30分頃
-------	-------------------

事例③~⑤：当日提示

1日目終了	20時30分頃
-------	---------

8月23日(日)

受付	9時30分 ~ 10時頃
----	--------------

その2：〔ke・ki〕の導き方〔事例①②については、詳細な分析とその検討を行きましょう！〕

事例①：〔ke〕の構音(点)指導『音の出し方』の視聴と解説

事例②：〔ke〕から〔ki〕を導く構音(点)指導『音の出し方』の視聴と解説

昼食・休憩	12時頃 ~ 13時頃
-------	-------------

事例③~⑤：当日提示

内容③ 『会話への般化の指導』の視聴と解説

指導の段階として「いつでもどこでも正しい構音で言える」の課題は不可能です。ですから、ここでは、このようになるには「どのような指導が必要なのか」の観点から、その指導を視聴し解説を行います。

〈必須〉『会話への般化の指導』は、構音(点)指導の開始時から始まる！

③A 『会話への般化の指導』の基本についての解説と指導上の留意事項についての解説

- 「いつでもどこでも正しい構音で言える」と『会話への般化の指導』の違いについて
- 『会話への般化の指導の基本』と『指導上の留意事項』について
- 構音指導の各段階での『会話への般化の指導』について
- 指導終了を判断する際の『構音運動の基準』について：指導のビフォーアフターを視聴して解説

③B 『会話への般化の指導の方法』の視聴と解説

- 構音(点)指導の開始時から始まる『会話への般化の指導』の方法について
- 構音指導の各段階での『会話への般化の指導』の方法について
- 「いつでもどこでも……」への道 = 「びっくり」「ドッキリ」の構音指導の方法について 他

終了	16時30分	お願い：後片付けのお手伝いを！	Time-remits：17時
----	--------	-----------------	-----------------

